

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2024年11月1 日		～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年11月1 日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2024年11月1 日		～ 2024年11月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援員全員が心理士でアセスメントに基づいた、方針、具体的な支援を、施設、保護者に提案できる。	・支援計画作成前の行動観察をアセスメントの機会として重視し、必ずサービス管理者と担当者2名で訪問し行動観察を行い、チームとしてアセスメントを行いアセスメント結果を職員間で共有している。アセスメント結果を踏まえ、保護者と施設側の希望に沿った、支援計画の作成を、必ずサービス管理者と担当者の2名以上で行っている。必要場合は、支援に生かすために発達検査も行っている。	・支援計画の目標と具体的な対応を施設に対し、より丁寧に説明し、施設側の目標とのすり合わせ、具体的な対応の実施状況を話し合いをさらに丁寧に行う。・訪問時の毎回の施設とのカンファレンスで、その時々で施設が最もアドバイスを必要としていることを確認し、解決策と一緒に探る。施設側の問題解決力をつける。対象児に対して、より専門的な対応が必要な場合、訪問支援員が、児童に対して直接支援も行う。
2	保護者支援 アセスメントに戻つて、将来を見据えて、保護者に児童の特性、必要な支援の方針、具体的な方策を提案できる。	・訪問支援後、必ず面接か電話で保護者に観察してきた状況と施設との話し合いの結果を対象児の特性と合わせて説明、報告している。丁寧な報告書を作成し、保護者、施設と共有している。 ・家庭での近況も確認し、保護者からの相談に応じ、特性から考えられる、実現可能な対応策を提案している。進路や将来に向けての情報も適宜、提供している。	・これまで通り、訪問時の児童の状況を報告し、保護者の対象児の特性への理解を深める。家庭での対応に関する相談は、保護者自身がこれまでどのように対応してきたの、これからどうしたいのかをより丁寧に確認し、支援員が一方的にアドバイスするのではなく、保護者と一緒に対応策を検討し、保護者自身での問題解決を促す。
3	関係機関(相談支援事業所、法人内の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所)との連携	・法人内の、相談支援事業所、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所を利用しているケースについて、訪問支援の報告書を共有し、対象児の施設での生活、施設での支援について情報を提供する。困難な問題については役割を分担して、対応する。 ・法人外の相談支援事業所にも、訪問の記録を送り、困難な問題については相談し、関係機関の会議の開催など依頼している。	・法人外の相談支援事業所だけでなく、法人外の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所と、保護者の許可をえてから、連携を深めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報の発信	・事業所の取り組みについて発信が必要と思っていない。 ・法人内で行っている保護者向けプログラムの周知が不十分。	・HPの利用 ・保護者への報告時に法人で行っている、「自閉症療育講座」「地域生活支援公開講座」「お父さんの会」の情報の提供を心がける。
2	法人外の児童発達支援事業所、放課後等デイサービスとの連携が弱い	・法人外の児童発達支援事業所、外後等デイサービス事業所との連携を重視していない。 ・事業所連絡会などに参加していないため、法人外の児童発達支援関係の施設を身近に感じない。	・事業所連絡会への参加をこころがけます。 ・必要な場合、保護者の許可を得て、他事業所とも情報の共有や相談を心掛けます。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援事業 第1松風園

公表日 令和7年 2月 21日

利用児童数 32人 2024年 1月 1日

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6	1		7	〇教具教材を使用しているのかわからない。	対象児に必用と思われる器具」※
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	14				〇毎回個室で面談させてもらっている 〇必ず個室で面談してくれる	
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	14				〇「何が苦手だから、こういう対応をしている」等の説明がきちんとされている	〇今後も、事業の大きな目的である保護者支援に力を入れていきます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	14				〇行事等、不安定になりやすいタイミングに訪問していただけただけはありがたかった 〇事前に訪問日を教えてくれている	〇今後もタイムリーな、訪問ができるよう、施設、保護者と相談しながら進めます。
保護者への 説明等	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	14					〇これまで通り、心理士が丁寧な対応をしています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				〇カードや時間割ボード等の支援グッズが有難かったです 〇保育園で出来ることが増えたと感じている 〇子供のことを短期間で理解してくれ、専門的な助言をしてくれていると、とても感じている	〇これまで通り、開始前の行動観察や必要の応じた発達検査などを通してのアセスメントに基づき、特性を理解し一人一人に合わせた支援を、丁寧に行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				〇ニーズに合った支援計画を立ててくれている	〇これまで通り、アセスメントに基づき、具体的な、訪問施設での支援を援助できる支援計画を作成していきます
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	14				〇担任の先生の意向も盛り込み、支援してくれていると思う	〇これまで通り、保護者、施設側担任の意向に基づく計画を作成します。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1		〇これまで同様、支援計画書には、具体的な行動につながる支援内容を記載していきます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				〇特にトイレが激変した（できるようになった） 〇支援計画に沿って支援してくれている	〇今後も、毎回の訪問の報告書にも目標を記載し、支援計画に沿った支援を行っていきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	14				〇保護者の移行を園に確認してくれたり園にも配慮してくれている	〇これまで同様、訪問先施設の意向、体制、技量などを配慮して支援していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				〇とても丁寧な説明を受けた	〇今まで通り、契約時に丁寧な説明を心掛けます。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				〇とても丁寧な説明を受けた	〇これまで同様、支援計画に基づいて支援内容を説明報告していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	10			4	〇利用して間もないため、まだわからない	〇さらに、当法人で行っている、保護者、支援者向けの「自閉症療育講座」周知を行っています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	14				〇とても丁寧に話を聞いてくれ、理解してくれていると感じている	〇これまで同様、将来を見据えて、家庭生活での難しさに対しても、丁寧に相談していきます。
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1			〇とても親身になって話を聞いてくれて、親が欲しい助言をくれている	〇毎回の訪問後の報告の際に、日常生活の様子をうかがい必要な助言、提案を続けていきます。	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				〇やさしい悩みや疑問も聞いていただけるので気持ちが軽くなります 〇よく質問させてもらうが、嫌な顔一つせず丁寧に聞いてもらっています 〇とても共感的に対応してくれており、面談の日はいつも心が救われたような気持ちになる	〇これまで同様、保護者支援に力を入れていきます。保護者が子育ての手ごたえを感じ、自己効力感を持ち、肯定的な注意を向け、親子関係がよくなることを目指していきます。	
18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14						
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14				〇子供にとても親身に対応してくれている	〇対象児童の特性に合わせた意思の疎通方法を常に検討し提案しています。保護	
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	14				〇担任の先生の対応が大きく変わったと感じているし、子供も少しずつ適応していている	〇これまで同様、訪問先からの相談と助言に関しても、保護者らも報告していきます。	
21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	14				〇理解や知識の少ない先生方へ専門的な支援方法やわかりやすい方伝えてくれて助かります 〇訪問先と支援内容について話し合われていると思う	〇毎回のカンファレンスの内容についても、これまで同様、保護者に報告します。	
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	14				〇学校での様子で知らなかったことを聞けた 〇とても分かりやすく共有してくれている	〇児童の特性と実際の施設での生活を保護者に知っていただくために、これまで同様写真などを使い具体的に報告していきます	
23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8				6	〇まだはじめてばかりなので	〇今後自己評価の結果などホームページなどで発信していきます。

時 等 の 対	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1			○報告書の発想の方法なども含め、十分に注意して扱っていきます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	12			2	○緊急事態が起こった際、訪問先施設と連携して迅速な対応に努めます。
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1			○安全を確保する計画を明確にし、周知します。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	12	1		1	○普段より真面目に過ごさようですが、見てもらえることは嬉しいようです。ほめてもらえるので ○訪問があった日は楽しそうにそのことを伝えてくれている
	28	事業所の支援に満足していますか。	14				○親・子・学校にとって、とてもありがたいです。始めた頃よりも少しずつですが、良い方向へ改善されています ○保育園での様子を細かく書類や写真を用いて説明して下さるので分かりやすい。利用して良かったと思う。 ○とても満足しています。どうもありがとうございました！ ○園の先生の対応が大きく変わったことで本人も楽しくいけるようになってきており、とても満足している

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

保育所等訪問支援事業 第1松風園

公表日

令和7年 2月 21日

利用児童数

32人 16施設

2024 年 12月 1 日

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9		1	<p>○園で行うにあたり難しいことも多く、うまく取り入れられないことが悩みである</p> <p>○小学校で難しい方法は相談すると別の形で考えていただける</p> <p>○児の特性を踏まえてできること、難しいことの範囲を教えてください、園の対策を考えています</p> <p>○今の課題について本児への支援の仕方を教えてもらうことができた</p>	<p>・これからも、今まで同様、訪問支援員が心理士であるという強みを生かして、アセスメントによる見立てを、施設とも共有し、発達特性、発達状況に合わせた、具体的な対応を提案していきます。施設側の対応力も考慮し、施設側が意欲的に取り組みやすい方策を提案できるように心掛けます。</p>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10			<p>○こうしたらどうだろうかとの状況も含めて一緒に考えて下さり、助かっています</p>	<p>・訪問支援員が全員心理士であることを活かし、難しい問題は持ち帰り相談できる体制を今後も維持していきます。</p>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8	2		<p>○こちらの質問に対して十分な回答をいただけている</p> <p>○園としてできることとできないことがあるため児への合理的配慮の難しさを感じることがあります</p> <p>○どうした良いのか対応に困っている時に適切に対応してもらったことができた</p>	<p>・今後も施設側ができる、やりたくなる対応を提案できるよう、心がけます。</p>
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	4		<p>○他の支援児、健常児集団で取り組むには難しいアドバイスがあり実施が難しかった</p> <p>○教えていただいた支援がうまく児童に当てはまることも、難しい場合もある</p> <p>○やるべきことははっきりとわかったような気がしますが、できることは別なので難しいです</p>	<p>・対応策を提案する際に、実施できそうかを確認し、実施しやすい方法を提案する。後日、提案したことを施設が実際に実施できた確認し、実施しにくい場合、より実施しやすく、実施しなくなる方法を提案しなすことをしていきます。</p>
5	事業所からの支援に満足していますか。	10			<p>○学校の取り組みをわかりやすく家庭へ伝えていただけてありがたい</p> <p>○職員が相談できる相手がいることで安心します</p>	<p>・これまで同様、施設の良き相談相手になれるよう努めます。</p>
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>○食事、着替えの対応について。両手を使ったあそびの提案など参考になりました。保育園で行っていることについての助言をいただき、すぐに対応することができました。ありがとうございました。</p> <p>○いつもご支援いただきありがとうございます。近頃、支援児童が増加傾向であることの原因等がお分かりでしたら教えていただきたいです。また別件として、支援児童が時間的に分断されてのお預かりでなく、丸一日という形での預かりできる利用の仕方を切に希望したいです。そうなればさらにお児たちの様子をご理解いただきより良い支援が向上できると思います。例)午前療育→午後保育園 給食は保育園であり、親御さんの送迎負担は大きい。⇒午前午後とも一日療育</p> <p>○保護者が分かりやすく写真と流れを画面で渡して説明して下さい、ありがとうございました。保護者への支援が必要な家庭のため、第3者の目線で丁寧に園の様子を的確に伝えていただき、とてもありがたかったです。</p> <p>○大変お世話になっております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>○保護者に園からは言いづらい事を心理という専門職から伝えて頂けてとても助かっています。</p> <p>○職員のスキルアップにつながっています。</p> <p>○いつもありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。</p> <p>○いつもありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。保護者にも寄り添いつつ学校の学習活動にも深く理解を寄せていただき、適切な助言や家庭との橋渡しをしていただき、感謝しています。ありがとうございます。</p> <p>○いつも大変お世話になっております。学校における困り感を感じていただき、適切にアドバイスいただいております。おかげさまで生徒は少しずつ落ち着いた学校生活を送れるようになっていきます。また、家庭支援もしていただき、本当に助かっています。</p> <p>○一度終了した訪問支援でしたが、再度の必要性に合わせ訪問支援を再開していただきました。今までも訪問いただいている福田先生に継続していただき、安心できました。五味先生にも来園いただき、保護者も出席するケース会議等も実施することができました。訪問支援再開時には欠席が続いていたため、連携を取りながら登校へ繋げることができました。保護者支援が必要なご家庭等にも、訪問支援の様子も含め、学校から保護者に伝えることが難しい内容を伝えて頂くことができました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。</p>					<p>・今後もこれまで同様、職員が心理士であるという専門性を活かして、アセスメントの視点を生かして、保護者に園での状況や支援を具体的に伝えることで、特性を理解していただき、施設にも保護者の考えをお伝えし、保護者と施設が協同して子育てができるようになることを目指します。</p> <p>・保護者の希望、状況に応じて、家庭での困りごとなどの相談にも応じ、家庭生活がスムーズにいき、保護者が子育ての自信を持てることを支援します。必要に応じて、関係機関（相談支援事業所、児童発達支援事業所、放課後等デイサービスなど）とも連携していきます。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援事業 第1松風園		公表日 令和7年 2月 21日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4		・ケースに合わせた教材を、必要に応じて用意している。	・必要な教員、教材を各支援員が手作りするなどに対応していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・体制（タイミング）の問題で、待機児童が生じることが課題。	・年度末になると、待機していただく希望者も出てくるので、すでに対応している児童の訪問頻度などを調整して、できるだけ待機時間を短くできるよう対応していきます。
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・月に1回、職員の打ち合わせ会議を行い、業務の運営、支援の進捗状況など確認、対応方法など検討している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・終結後（これまで）、アンケートを実施している。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・定期で会議を行い、その都度必要なことを相談し、進められている。 ・スタッフ会議を毎月開催している。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	・外部評価の方法を探しています。	・外部評価の方法を探しています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・リーオンミー等、有効に活用できると良い。業務に必要と思われるより専門性の高い分野については、職員の希望に基づいて、研修費の補助をしている。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・必ずサービス管理者と担当者の2名以上で支援計画を作成している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		・必ず作成前に行動観察を行い、施設側の担当者の意向、ニーズを確認し、保護者、本人のニーズとすり合わせて、支援計画を作成している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・必ずサービス管理者と担当者の2名以上で支援計画作成会議を行って支援計画を作成し、支援計画に沿った支援を行っている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・必要に応じて発達検査も行っている。結果を施設・保護者に共有し、支援に役立てている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・ガイドライン通り、支援計画には、こども本人、訪問先職員、家族に対する支援の具体的な内容を踏まえ、具体的な支援内容が設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	・支援計画を共有し、支援計画に沿った支援を行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・単独での訪問が多い。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・必ずではないが、打ち合わせを行い情報共有し、振り返りをしている。打ち合わせができない場合も記録を通して共有している。	・さらに、情報の共有、実施後の職員間での報告、振り返りを大切にしています。打ち合わせができない場合も、記録を通してさらに共有していきます。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		・訪問先施設の理念や手法を尊重して、支援をおなっています。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		・報告書・面談を、保護者支援としても役立てている。		

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		基本的には6か月を経過して時点で、評価を行い、計画を見直している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・多くの会議に担当者が参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・必要な時には、他機関とも連携をとっている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・訪問先施設と相談し必要に応じて情報共有、相互理解を図っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1	・必要に応じて、外部機関に助言を求めたり、職員を外部研修に参加させている。	・助言を求められる外部機関を探していきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	3	・法人内の他部署が参加している。	・法人内の参加している他部署から情報を共有します。必要に応じて、連絡会に参加します。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・必ず訪問後、保護者に報告を行いながら、家庭での様子も聞き発達状況や課題について共有している。	
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・自閉症療育講座(オンラインプログラム)の実施、情報提供。		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時の説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		・開始前の行動観察時に、訪問支援事業について、説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・インテーク面接時に保護者の主訴や思いを確認している。行動観察を通して、子どもの特性や意向を県としている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		契約時、半年ごとの評価を、個別支援計画を作り直したときに、同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		・報告時や保護者の希望に応じて電話や面接での相談に応じている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3	・他事業所が担っている。	・必要な場合は、法人内の父親の会、自閉症児者親の会のれいぼーなど、を紹介します。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・相談の希望がある場合、できるだけ速やかに対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3		・ホームページなどの活用を検討したい
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・留意している。		
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・視覚的に話し合いの要点等、示す。		
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		・相談の希望がある場合、できるだけ速やかに対応している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		・必ず行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		・必ず報告を面接か電話で行い、報告書を作成して、保護者と訪問先に送付している。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・注意してる	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4		・信頼関係を作りながら専門的に	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	・周知していない。訓練をしていない。 ・（「いいえ」だが）周知はしている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		安全計画の作成と必要な研修、訓練を行います。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・会議で事業所内で共有し、対応策を話し合っている。記録を残している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	・身体拘束の必要なケースがなし	